

1 2023. 11. 25

急に冷え込みが厳しくなったせいか紅葉が一気に進み、里山を彩る木々の葉に心が癒される日々です。ガマやヨシ原は、かわいい鳥たちのお気に入り、冬鳥がやってきて谷津に響き渡るさえずりが一段とにぎやかになるのももうすぐでしょう。今年最後の野菊「リュウノウギク」が風に揺れながら控えめに咲いています。



ムラサキシキブ

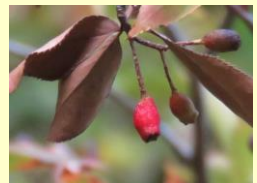
木の实 草の実



ガマズミ



ヤマコウバシ



カマツカ



ゴンズイ



コマユミ



ヒヨドリジョウゴ



カラスウリ



タコノアシ



トキリマメ



ヤマノイモ



ヘクソカズラ



センニンソウ



コセンダングサ

<季節メモ> カエデの仲間

ようやくモミジがきれいに赤く染まってきました。ところで「モミジ」と「カエデ」は同じか、違うのか？単にモミジといえばイロハモミジを指すことが多いようですが、イロハカエデとも呼ばれるようにモミジとカエデの明確な区別はありません。どれもカエデ属に属し、モミジ属というのではありません。カエデの語源は葉の形、(カエル手→カエデ)になったと言われます。しかしカエルが手を広げたような切れ込みの深いものから、切れ込みが浅いもの、切れ込みがないものといろいろです。



小春日和のコナラ広場「葉っぱアート」



カエデの仲間の特徴は、葉よりもほかの部分にあります。葉が対生(向かい合わせ)、翼を持った2個の果実が対になるが飛び散るときは二つに分かれ、風によって散布されます。日本に20数種自生していますが園芸種も多いようです。カエデは日本の秋を彩る主役、少しの間ですが紅葉を楽しみましょう。

写真・編集：晝間